



## Alumni の動き

### ◆令和元年度第1回岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会を開催

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、令和元年6月18日（火）に第1回理事会を開催しました。理事会は会長、副会長、岡山大学理事・副学長、各学部等同窓会代表、各同窓会支部代表等で構成されており、東京、名古屋、広島、高松からの理事も出席されました。議事では、小長 Alumni 会長の進行により平成30年度事業報告および平成30年度会計報告並びに監査報告、令和元年度事業計画および令和元年度収支予算、各事業の募集要項等の事項について審議しました。活発な意見交換があり、今後の Alumni 事業の発展に寄与するものとなりました。

[http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1\\_20190618.html](http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/topics/news1_20190618.html)

### ◆関東圏同窓会会合「岡大懇話会」（令和元年度第1回）を開催

本学の全学同窓会組織「岡山大学 Alumni」活動の一つとして、関東圏同窓生有志で構成される「岡大懇話会」の令和元年度第1回目の会合が5月31日、東京都千代田区で開催されました。

同会は、「いつか会」と同様に、本学東京オフィスの協力のもと Alumni 東京支部が主催しています。同支部の活動の輪を広げていく上で、各学部同窓会メンバーを中心に学部を超えて同窓生が集い、情報交流を行う場です。本年度1回目となる今回は、さまざまな学部・大学院から初参加者2人を含めた21人の同窓生が参加しました。

幹事役を務める長谷川伸城氏（法学部卒）の司会により進行。はじめに、文経学部同窓会東京支部長を務める中門弘氏による乾杯が行われました。その後、本学の宮道力准教授・東京オフィスマネージャー（法学部卒）が、東京オフィスの近況について紹介。東京駐在の佐藤法仁副理事・URA（歯学部卒）が、5月19日に岡山で開催された「岡山大学創立70周年記念式典」や大学の近況などを、「岡山大学 MONTHLY DIGEST」を示しながら報告しました。参加者の近況報告では、小長啓一 Alumni 会長（法文学部 現法学部卒）が、現在表面化している米中貿易摩擦問題や国内の政治情勢の見方などについての私見を述べました。

最後に、Alumni 東京支部前幹事である土岐彰氏（前医学部同窓会東京支部長）の「岡大懇話会の交流を深めつつ、岡山大学を盛り上げていきましょう」という呼び掛けに参加者全員が賛同し、創立70周年となる記念すべき日の31日に開催された、「令和」初の岡大懇話会は閉会となりました。

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8655.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8655.html)



## 岡山大学の動き

### ◆学生も共に SDGs の普及・推進へ「岡山大学 SDG アンバサダー」のキックオフミーティングを開催



本学は、本学の SDGs（国連の持続可能な開発目標）普及・推進活動にあたり、同活動に賛同する個人または団体を「岡山大学 SDGs アンバサダー」として任命する制度を新たに設けました。これに伴い7月31日、SDGsに関心を持つ本学学生らを集め、キックオフミーティングを創立五十周年記念館で開催しました。

「岡山大学 SDGs アンバサダー」に志願する本学学生のほか、SDGsに取り組む地域の高校生らなど、総勢約140人が

参加しました。狩野光伸副理事の司会で進行し、榎野博史学長が、予測不能な困難に満ちた現代社会においてSDGsを推進していくことの重要性、これまでの岡山大学のSDGsの取り組みや実績などを説明。岡山大学SDGsアンバサダーを志願する学生らに、「岡山大学のSDGsの取り組みをできるだけ多くの人に共有し、可能なら、SDGsを『自分ごと』として取り組んでみてください」と呼び掛けました。その後、本学学生や高校生から榎野学長へ多数の質問があり、活発な意見交換が行われました。最後に参加者全員で記念撮影も行い、盛会のうちに終了となりました。

今後、本学は、「岡山大学SDGsアンバサダー」制度を活用して、SDGsの普及・推進に取り組んでいきます。

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8693.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8693.html)

#### ◆「学都基金理事会・学都振興会・感謝の集い」を開催

6月18日、学都基金の運営全般について討議する「学都基金理事会」、学都基金の募金活動の推進を目的とする「学都振興会」、学都基金の高額寄付者および学都振興会会員を招待した「感謝の集い」を本学津島キャンパスで開催しました。

榎野博史学長を会長として、学都振興会会長の小長啓一氏、県内企業、本学同窓生、理事ら17人で構成する理事会では、平成30年度学都基金収支決算報告および令和元年度学都基金支出計画などを報告。学都振興会には、学都基金の取組みへの賛同者である学都振興会の会員55人が出席しました。学都基金からの奨学金で海外研修に参加した医学部保健学科2年生の安藤佑奈さんが、ミャンマーおよびラオスでの研修とインターンシップについて発表を行った後、榎野学長が「岡山大学の“熱き”源流と未来への可能性」と題して、本学の取組について講演を行いました。

感謝の集いでは、榎野学長が高額寄付者11人へ感謝の楯を贈呈。学内関係者が高額寄付者へ感謝の気持ちを述べるなど、活発な意見交換が行われました。

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8602.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8602.html)



#### ◆岡山大学病院で市民フォーラム「ゲノム医療と科学の最先端」を開催



6月30日、岡山大学病院で市民フォーラム2019「ゲノム医療と科学の最先端」を開催し、高校生を中心に一般の方を含めた約130人が参加しました。

岡山大学病院臨床遺伝子診療科の十川麗美技術職員は、がんゲノムをテーマに遺伝やがん、遺伝カウンセリングについて全般的に紹介。臨床遺伝子診療科の河内麻里子助教は、急速に加速しているがんゲノム医療の診療現場や仕組みをわかりやすく解説しました。大学院医歯薬学総合研究科の須藤雄気教授は、光の受容体であるロドプシンなどの膜タンパク質を利用して光を医療に応用する研究内容について話し、岡山大学異分野融合先端研究コアの佐藤伸准教授・研究教授は、ウパールーパーの再生能力を人間の医療に生かす研究を紹介しました。

フォーラムの前には高校生約50人を対象に、岡山大学病院の最新の医療設備を体験する医療デモ体験を実施。シミュレーションセンターにて、内視鏡や腹腔鏡の機械の操作や縫合を体験しました。実際の手術で使用している器具に触れ、高校生らは初めて見る医療機器に目を輝かせており、医療に対してより一層関心が高まったようでした。「興味を引く内容ばかりで面白く、もっと話が聞きたい」「初めて知ることばかりで楽しかった」「未来の医療について知ることができた」などといった感想が寄せられました。

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8676.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8676.html)

#### 【発行元】



岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（岡山大学 総務・企画部 総務課内）

Tel: 086-251-7019 Email: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>